



2010年2月14日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

参院和歌山選挙区 候補内定

N P O
法人役員

島久美子さん

和歌山県連は6日、和歌山市内で記者会見し、石井一選対委員長同席のもと、今夏の参議院選挙和歌山県選挙区の公認候補に、新人でNPO法人役員の島久美子(しまくみこ)氏(53)の擁立を内定したと発表しました。



会見で島氏は、ボランティア活動などを通して、「誰かの役に立ちたい」「社会をより良く変えていきたい」との思いをふくらませ、短大卒業後、子どもたちの豊かな成長を目指す『子どもNPO』に飛び込んだことを紹介。「まだNPOという考え方がない時代だったので、子どもたちのために公共的な活動を繰り広げて、どんな存在だと不思議がられた。しかし、今、政府が打ち出している『新しい公共』の原点がここにあると思う。一人ひとりが『幸せ』や『生きがい』を感じながら日々を送り、それが地域の元気につながる。そんな社会をみんなで一緒に作る事が私の強い思い」と述べました。

同時に「みんなが主人公になる政治を、皆さんとともに作っていききたい」と強い決意を語りました。

同席した石井選対委員長は「島さんは和歌山のNPO活動の草分け的存在として、33年間地域社会のために、生活者の視点に立って、庶民のサイドから活動されてきた方であり、こういう形で草の根運動を続けて来られた方は、全国の候補者の中でも数少ない。そして女性であったということが、本部として選考に残した最大の理由だ」と期待の候補であると島さんを紹介しました。

子どもの貧困対策 長妻厚労大臣要望受ける

卒業クライシス対策を

国会内で9日、「ヒアリング 子どもの貧困：中学・高校生の卒業クライシス(危機)について」と題して、女子高校生4人と、窮状を間近で見ている2人の先生、あしなが育英会の大学奨学生森本早紀さんから、子どもたちを取り巻く現状を、民主党議員が話を聞き、長妻昭厚生労働大臣らが要望書を受け取りました。



ヒアリングでは、生活困窮による授業料滞納のため卒業できない、といった、子どもたちの暮らしを崩壊させ、学ぶ機会を奪う貧困の連鎖の実態が浮き彫りになりました。

長妻厚労大臣、山井和則厚労大臣政務官、高井美穂文部科学大臣政務官に対し、中高生に対し緊急対策を講じるよう、緊急要望書が手渡されました。長妻大臣は、特例を講じるべく実現に向けて取り組んでいると表明。中長期的には、子どもたちの貧困問題の解決に向け、「予算の配分を変えて取り組みたい」と強調しました。

長妻厚労大臣、山井和則厚労大臣政務官、高井美穂文部科学大臣政務官に対し、中高生に対し緊急対策を講じるよう、緊急要望書が手渡されました。長妻大臣は、特例を講じるべく実現に向けて取り組んでいると表明。中長期的には、子どもたちの貧困問題の解決に向け、「予算の配分を変えて取り組みたい」と強調しました。

田村参院議員が入党 参院会派121人に

常任幹事会で9日、田村耕太郎参院議員の入党が承認されました。田村議員は参院鳥取県選挙区選出、当選2回、1963年生まれ。

また、参院の会派、民主党・新緑風会・国民新・日本にも入会。これで、会派所属議員は、121人となりました。これに関連し、高嶋良充参院幹事長は9日の、定例記者会見で、田村議員の入党で、参議院の会派は過半数を得ることになるが、連立与党の中でやっていくことは今まで通りで全く変わらないと強調しました。